

平成26年度 南魚沼郡市生徒指導部 活動報告

部長 浅井 弘行

1 研究主題

保護者・地域との連携を図る生徒指導のあり方

2 研究の概要

- (1) 学校と保護者・地域との情報連携・行動連携の進め方について、小中学校間の協議、小・中学校同士の協議、そして関係諸機関との情報交換を通して明らかにする。
- (2) 小中合同の研究組織を立ち上げ連携した研究を進めるとともに、学校警察連絡協議会とも連携しながら取組を進め、研究推進に生かす。

3 研究の実際

- 5月 1日 (木) 学校警察連絡協議会所属長会議
- 5月 2日 (金) 南魚沼郡市教育振興会小・中学校生徒指導部会
- 6月10日 (火) 第1回学校警察連絡協議会担当者会議
- 8月 5日 (火) 更生保護施設施設訪問 (群馬県 赤城少年院)
- 8月20日 (水) 郡市教育振興会中学校生徒指導部会
- 8月 (夏季休業中) 中学校区生徒指導部会 (いじめゼロスクール集会事前打合せ)
- 11月26日 (水) 第2回学校警察連絡協議会担当者会議

4 成果と課題

(1) 成果

各部会での講演や情報交換、協議等を通して、学校・保護者・地域が連携していくための手だてについて明らかにすることができた。

① 中学校生徒指導部会

中学校毎の事情や環境は異なっても、生徒指導主事が中核となって校内組織を生かし、家庭・保護者に対応することが問題解決と信頼関係の向上につながる。また、外部機関との連携においても、窓口となる主事の役割が重要である。

② 更生保護施設訪問

更生施設においても「学びの共同体」「生きる力の育成」をめざした成長発達支援に取り組んでおり、保護者等との情報共有を基盤とした記録の蓄積と見立てを行うことが子どもへのよりよい指導につながるということが明らかになった。

③ 生徒指導講演会

市教育委員会学校教育課管理指導主事の講話を拝聴し、生徒指導にかかわる現状と課題について学ぶことができた。家庭における養育がその後の児童生徒の発達成長に大きくかかわることを再認識し、保護者・家庭との連携の重要性を実感した。



【生徒指導講演会の様子】

(3) 今後の課題

各活動において、中学校区内及び学校間・校種間の情報交換を重視することにより、保護者・地域とのよりよい連携の手だてについて学び合うことができた。保護者・地域との連携をよりよく進め問題解決を図るために、情報共有を重視した連携と各学校主任・主事のさらなる資質・指導力向上が必要である。